

赤十字の活動資金にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社は、皆様の温かいお気持ちに支えられ「いのちと健康を守る」人道的活動を続けております。

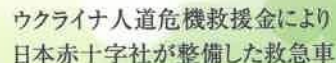
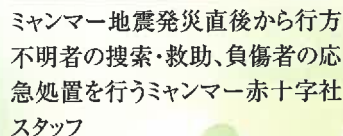
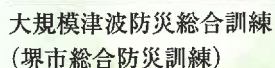
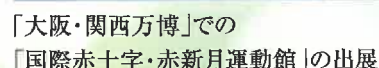
大阪府支部では、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震や大規模災害に備え、資機材の整備、救援物資の備蓄及び救護員の訓練・研修等を実施しています。また、講習普及活動として、救急法など一人でも多くの命を守るための講習を日々開催しております。

そして、長引くウクライナや中東での人道危機をはじめ、海外における紛争や自然災害に対しても、国際赤十字の一員として、緊急物資の提供や復興支援などの協力活動を行っています。

さらに、「大阪・関西万博」では、赤十字も「人間を救うのは人間だ」をコンセプトに「国際赤十字・赤新月運動館」を出展しております。世界の人道危機に立ち上がるヒューマンストーリーを通して、赤十字の使命と人間の力を感ずるパビリオンです。是非ご観覧にお越しください。

今後とも、赤十字の使命を全うできるよう、より一層努力してまいりますので、引き続き力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社大阪府支部 事務局長 西野 栄次

[illegible]

お寄せいただいた活動資金の使い道

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とし、様々な事業を行っています。災害が発生すればいつでも駆けつけられるよう日頃からの訓練・研修をはじめ、これらの活動はすべてみなさまからのあたたかいご支援により実施しております。



国内災害救護

災害時の備えとして救護資機材の整備、救援物資の備蓄、救護班の訓練・研修を実施しています。

常時配備している医療救護班の数

大阪赤十字病院 15班
高槻赤十字病院 5班 **20**班

救護員研修の実施回数及び参加人数

8回 **341**人



赤十字ボランティア

赤十字ボランティア・奉仕団は、地域に根付いた活動や特定のスキルを活かした活動を展開しています。例えば、防災ボランティアは身近なものを使った応急手当を普及する活動に取り組んでいます。

奉仕団数 **87**団 **298,943**人



救急法等の講習

急な病気やけがの手当て、事故防止、また地域における防災・減災に役立つ知識や技術を皆さまにお伝えするため、様々な講習を実施しています。

講習会及びセミナー
実施回数 **390**回 受講者数 **14,460**人



国際活動

紛争地の医療技術を高める支援、復興支援や被災地の防災力を高める支援などを実施しています。

海外への派遣人数

・独立行政法人国際協力機構(JICA)
「シエラレオネ中央子ども病院」サービス向上プロジェクト
・国際赤十字・赤新月社連盟ジュネーブ事務局
(ロジスティックス部門)

延べ **5**名

開発協力事業の実施

・インドネシア・コミュニティ防災事業



青少年赤十字

学校における青少年赤十字活動の推進、青少年赤十字指導者・メンバーの育成などに取り組んでいます。

青少年赤十字加盟校数 **383** 校園所



医療事業

大阪赤十字病院・高槻赤十字病院では、地域に根ざした医療の提供に加え、国内外の災害時に医師や看護師等を派遣しています。

令和6年度 活動資金の活用実績

						(万円)
国内災害救護	7,514	看護師の養成	240	全国的な赤十字活動への拠出	13,783	
国際活動	100	地域における赤十字活動	10,998	翌年度への繰越	4,303	
赤十字ボランティア	2,247	活動資金の募集・広報活動	11,894	合計	122,552	
青少年赤十字	832	将来に備えての積立	12,313			
救急法等の講習	2,826	組織運営費	12,050			
医療事業・血液事業・社会福祉	37,790	社屋の修繕費・維持管理費	5,662			

※当初の見込を大きく上回る活動資金収入については、災害救護活動のための積立を行いました。
※会計規則の変更に伴う積立金の移動は、未計上。